

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 22年 6月 8日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3471502686		
法人名	株式会社リブネット		
事業所名	グループホームかざぐるま		
所在地	福山市御幸町上岩成609-1 084-961-1200		
自己評価作成日	平成22年6月8日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先UR	http://www.hksjks.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=3471502686&SCD=320
------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成22年6月24日(木)

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

<p>自宅に帰る、お墓参り、外食、映画、買い物、釣りなど入居者さんがしたい事のいかにして実現していくかという事に一番力を入れています。また看取りの件数も多く、条件が合えば殆どの方が最後まで生活できるような支援を行っています。1年に1冊どういう取り組みをしてきたかの反省などを書いた冊子をスタッフ全員で作成し、入居者さんご家族へ1年間の取り組みの周知と共にスタッフ自身の1年間の振り返りに生かしています。</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<ol style="list-style-type: none">1. 全職員が理念をよく理解しており、ケアサービスを提供する上での拠り所とし、常に立ち戻る原点としている。理念のもとで、利用者一人ひとりの想いに近づき、想いを実現する取り組みを行っている。2. 全職員は日々の関わりの中で、利用者一人ひとりの何々したいというニーズの把握を大切にし、本人の持てる力を見出し、取り戻し、使い続けられるようサポートしている。3. 利用者の方が力を振り絞り自分らしく生きる姿を、全職員で支えていく支援の一つとして、事業所の力量や体制を整えながら重度化や終末期を支える支援に取り組んでいる。多くの方の看取りへの支援に取り組まれているが、全職員は何時も利用者の方の人生の最後の時を一緒に過ごさせて頂いたことへの感謝の思いを持っている。

かがやき

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
理念に基づく運営						
1	1	<p>理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。</p>	<p>家庭的な雰囲気の中で仲間と一緒に思いやりとやさしさで笑顔を大切にしながら生活を目指すという理念に基づいて笑顔で生活できるように取り組んでいる。</p>	<p>事業所の理念にもとづいて、全職員が話し合っ各ユニットごとの理念を作り、この理念を更に掘り下げて目標を作っている。全職員は理念の本質を認識して、日々利用者に関わる際に、理念を具体化していくことを意識して支援に取り組んでいる。</p>		
2	2	<p>事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している。</p>	<p>近所のスーパーへ毎日食材を買いに行っている。理美容院も利用している。</p>	<p>日常的に散歩や買物に出かけ、地域の人たちと挨拶を交わしながら顔なじみの関係づくりに取り組んでいる。地域で必要とされる活動や役割については、地道に呼びかけてはいるが今の所は要請がない。</p>		
3		<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。</p>	<p>近隣の店に入居者さんが製作したカレンダー、フラワーアレンジメントなどを持っていき飾ってもらっている。</p>			
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p>	<p>今まで取り組めていなかったが6月に開催予定</p>	<p>地域性により運営推進会議の定期的な開催と、体制づくりが難しかったが、地道な取り組みにより今年度から開催が行われる体制が出来ている。管理者と職員は、運営推進会議の意義をよく理解しており、地域の理解と支援を得るために、参加者への働きかけを継続して行っている。</p>		
5	4	<p>市町との連携</p> <p>市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>日ごろの不明な点などは市担当者へ相談し連携を取っている</p>	<p>利用者の認定更新の機会等を通じて、市担当者に事業所からの相談事項に応じて対応してもらえよう、関係をつくっている。また、地域包括支援センターと情報交換を行い連携を深めている。</p>		

かがやき

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	日常のケアの中でリーダーを中心にミーティング、勉強会等の中で周知し拘束をしないケアを徹底している。	身体拘束防止マニュアルの中身を全職員が理解し、利用者の人権を守ることがケアの基本であるという認識に立ち、身体拘束をしないケアの実践に取り組んでいる。また、ミーティングや勉強会を通じて、利用者一人ひとりの安全を確保しつつ自由な暮らしを支援するための工夫と取り組みについて話し合っている。	
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	日常のケアの中でリーダーを中心にミーティング、勉強会等の中で周知し虐待に対する意識を高め、防止に努めている		
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	管理者が学んでおり、必要な方には利用してもらっている		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	本人の希望、家族の要望、事業所のできる事できない事を契約時に限らず必要な時に家族、本人と事業所が確認しあい納得した上で利用してもらっている		
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	年3回の家族会を開催している。その中で、家族へのアンケートを実施したり、話し合いの場を設けている。また家族の面会時などにもここにスタッフが声をかけ少しでも多くの家族の要望を知れるようにしている	面会時や運営推進会議及び事業所独自のアンケートで利用者、家族の意向や要望を把握し、運営に反映させている。家族が何でも言える雰囲気づくりが、出来ている。	

かがやき

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>月2回のリーダー会議、各ユニットミーティング、毎朝のミーティングの中で意見や提案など話し合う場を作っている</p>	<p>各種会議での意見や、代表者・管理者・職員が話し合う機会を設け、出された意見や要望等を運営に反映している。日頃から、全職員間でのコミュニケーションを図るよう心がけ、意見を率直に発言できる等、工夫がされている。</p>	
12		<p>就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>資格取得や実績が給与に反映されるような仕組みになっている</p>		
13		<p>職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>スタッフの経験に応じた内容の外部研修への参加を行っている。今年度から今までは不定期に行ってきた法人内の勉強会を毎月1回は必ず開催するようにし、より勉強の機会が増えている</p>		
14		<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>管理者同士等の限定的な交流はあるが、事業所全体での交流には至っていない</p>		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>入居前の事前訪問などで、現場スタッフも参加し少しでも早く打ちとけ、安心して要望が言えるような関係作りに努めている</p>		

かがやき

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>要望に沿ったサービスを提供できるように、家族の思い、心配なことなど話してもらえるような関係作りをしている</p>		
17		<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>本人、家族の要望と事業所の出来る事出来ない事を話し合いすり合わせ、要望にこたえられないような場合には要望に沿えるようなサービスの紹介をしている</p>		
18		<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>入居者さん主体の生活を実践する為にスタッフは入居者さんの要望をかなえるために存在している事を意識した入居者さんとの関係作りをしている</p>		
19		<p>本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>事業所で何でもしてしまうのではなく、家族が参加できる事には極力参加してもらいあくまで本人と家族の関係を最優先にし家族では補いきれない部分を事業所がサポートするように努めている</p>		
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>帰宅したい時には帰宅できるようにし、家族に都合がつけば家に宿泊できるようにしている。それが難しい場合には、手紙、電話などを使い関係が途切れないように支援している</p>	<p>お墓参りや、外泊などを家族の協力を得ながら行っている。また、利用者の行きつけの理美容室を利用する等関係を継続出来るよう支援している。</p>	

かがやき

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	気の合う方同士は好きにしてもらっている。単独で行動が多い方には不満が出ない程度に他の方と交流できるようにスタッフが仲立ちをしたりし、入居者同士楽しみながら生活できるような関係作りに努めている		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	長期入院の為に退去の方へ入居者さんと一緒にお見舞いに行ったり、亡くなった方の争議へ参列をしている		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いやりや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	一人一人の要望を把握し、どうしたら実現できるかをいつも考え実行している	入浴、食事等の際、会話から利用者の意向や希望を把握している。意思疎通の難しい利用者には、日常生活での表情、仕草及び利用開始前の情報把握に努め、全職員が情報を共有し、利用者本位の支援の検討に努めている。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	日常での本人との会話、面会時の家族との会話などから情報を得ている		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	ライフチャート、申し送り等で全スタッフが情報を共有できるようにしている		

かがやき

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>ミーティング時に全員で行うカンファレンス以外にも日ごろの少しの時間を利用して個々のスタッフ間でも意見交換などをし少しでも多くの情報を反映できるように取り組んでいる</p>	<p>利用者等の意向を踏まえた計画を担当職員、チーム職員の合議により作成し、関係者全員で計画に沿ったサービスが提供できるようにしている。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>時系列に沿った生活記録（ライフチャート）を利用し、こまめな記録と勤務交代時の申し送り等で情報の共有をしている</p>		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>その都度、本人、家族、事業所で話し合い、可能な限り実現できるように取り組んでいる</p>		
29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>地域の祭りや催し物等の行事への参加をしている</p>		
30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>何かあればいつでも相談受診できる体制になっている。事業所の協力病院以外でも本人、家族が希望するかかりつけ医を利用してもらっている</p>	<p>協力医が定期的に往診しており、通院は事業所に対応しているが、必要に応じて家族も同行している。利用者、家族の希望でかかりつけ医を選ぶこともできる。</p>	

かがやき

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>協力病院の看護師にいつでも相談できる体制が整っており、気になる事、些細なことでも相談に乗ってもらっている</p>		
32		<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時には病院との連携を密に少ししても早期に退院が出来るようにしている</p>		
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>家族、医師、事業所で話をする機会を作り、事業所でできる事と本人、家族の要望をすり合わせながら最期まで生活できるように援助している</p>	<p>できるだけ早期から話し合いの機会を作り、方針の統一を図りながら、事業所が対応しうる最大の支援方法を踏まえて、チームで取り組んでいる。利用者や家族のニーズをくみ取りながら、体制を整えていく努力もなされている。</p>	
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>緊急時のマニュアルを準備している。定期的にスタッフ全員救命救急講習を受けている。</p>		
35	13	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>消防署の職員指導の元の避難訓練を定期的に行っている。災害時の地域との協力体制は築けていない</p>	<p>消防署の協力を得ながら、火災、地震、水害など各種の災害に備え昼夜いつでも利用者が安全に非難できるよう訓練内容、回数を充実している。</p>	

かがやき

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	各ミーティング、社内研修などを利用して入居者の尊厳を尊重するケアの重要性を喚起し実行している	居室への入室の同意を得たり、利用者の呼称、声かけ、トイレ誘導など日常の支援の中で一人ひとりを尊重し、プライバシーに配慮するよう職員間で意識し、対応している。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	日常会話の中で入居者さんの要望を少しでも多くくみ取るように努め、本人が思いを言える環境作りに努めている	/	/
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	スタッフに対して入居者さんの希望を知ったら即実行できるように、どうすれば実行できるか考えるように、という意識付けの元支援している	/	/
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	入居者さんと相談してその時着る服を選ぶようにしている。理美容院に行きたい時に行けるように、「パーマをあてたい」と言われたら家族の説得をしたりとおしゃれが出来るように支援している	/	/
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	献立を一緒に決めてから食材の買い出しへ行っている。調理時には各入居者さんの出来るところを担当してもらい入居者さん、スタッフが一緒にすることを大事にしている	食材の購入・調理の下準備・可能な食事準備・後片付けなどを利用者と一緒にしている。また、利用者の希望メニューを取り入れたり、外食に出かけるなど楽しい食事になるよう工夫し支援している。	

かがやき

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>一日の食事量、水分量は記録を見て全スタッフが把握できるようにしてある。個々の状態に応じて食べれない時には食べれる物を少しづつでも食べてもらえるような援助をしている</p>	/	/
42		<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>食後に声掛けを行い、介助が必要な方には介助している。</p>	/	/
43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>個々の排泄パターンを把握し、一人一人に合わせた援助を行っている</p>	<p>利用者一人ひとりの自尊心に配慮し、排泄習慣、排泄チェック、利用者の表情から個別の状況に応じた排泄支援をしており、自立につなげている。</p>	/
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>排便の間隔を把握し個々の状態により医師の指導の下下剤や、浣腸の使用を行っている。予防としては水分摂取量に気をつけたり、腹部マッサージ、運動などを取り入れている</p>	/	/
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の中で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>入居者さんの希望に合わせて入浴したい日に入浴してもらっている。極力好きな時間に入浴できるように援助しているが、対応の難しい時間帯もある</p>	<p>利用者一人ひとりの習慣や希望を把握し、それを活かしながら、本人と家族の安心と満足、スムーズで安全な入浴、体調の改善、入浴場面での本人の力の発揮等につなげている。</p>	/

かがやき

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	就寝時間、起床時間に特に決まりはなく、入居者さんのリズムで生活している。			
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	処方箋を各入居者さんのカルテに閉じてあり、いつでもスタッフが確認できるようにしてある。往診受診時に聞いた注意事項に関しては往診ノートに記入するようになっており、全スタッフが薬についての確認ができる体制になっている			
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	一人一人の好みに合わせ、買い物、外食、映画、釣り等の趣味活動が出来るようにしている。また日常の家事など手伝ってもらった場合などにはスタッフが感謝の気持ちを伝え、張り合いの持てるようにしている			
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	一人一人の希望、要望を知ったら即実行するようにスタッフに意識付けをしている。家族、スタッフとの外食、お墓参り等やりたい事を実現するように努めている	利用者の希望に応じて、散歩・買物・外食に出かけたり、通院時を利用したドライブやお墓参りなどが出来るよう支援している。		
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	各個人での金銭管理はしておらず、ユニットの金庫にて管理しているが、使いたい時にいつでも使えるようになっていく。			

かがやき

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	特に制限は授けていない。好きな時に好きなようにされている	/	/
52	19	居心地の良い共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	季節の花を飾ったり、季節ごとに壁面構成を取り替えながら季節感を味わえるようにしている。	共用の空間には利用者の共同作品や写真、季節の花などがあり、明るい雰囲気がある。整理整頓が行き届いており、利用者が作品作りや洗濯物たたみなどの活動をする場所となっている。	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	リビングの中の様々な場所に、テーブルやソファがあり好きな時に好きな場所で過ごせるようにしている	/	/
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	使い慣れた家具などを持ち込んでもらっている。家族の写真や自分で作った作品などを飾っている	居室にはタンス・テレビ・ペットなど馴染のものを持ち込んだり、利用者の作品、季節の花など思い思いのものでその人らしく暮らせる部屋となっている。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	各入居者さんの個室、お風呂、トイレなどわかりやすいように工夫している	/	/

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
			③たまに
			④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の3分の2くらいが
			③職員の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の3分の2くらいが
			③家族等の3分の1くらいが
			④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームかざぐるま

作成日 2010年7月20日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	29	地域への祭りなどの行事参加がただ参加するだけになっており、地域住民との交流までに至っていない。	地域の方に遊びに来てもらえるような関係を作りたい	地域の方と触れ合う機会を積極的に作る	1年
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。